

講座 緑地環境保全学

2.2.5 研究分野：環境デザイン学

構成員：	教授	森本 幸裕
	准教授	深町 加津枝
	助教	今西 純一
	大学院博士後期課程	7名
	大学院修士課程	7名
	専攻4回生	4名

A. 研究活動（2010.4～2011.3）

A-1. 研究概要

a) 公園・緑地などの造園空間や地域づくりの原論・歴史的研究

特に近代造園デザイン史や近代公園の成立に関する研究を継続的に行っている。近代造園デザインでは米国近代のランドスケープ・デザインに関する研究が一つのテーマになっている。近代公園・緑地史に関する研究では経済・政治等の社会的背景から公園・緑地あるいは地域の成立の意義を明らかにすることを目的とし、今後の公園・緑地あるいは地域づくりの方向を考察する。

b) 自然環境の回復・緑化および緑地の保全と活用に関する生物保全学的研究

都市林や近郊二次林の保全と活用をめざし森林環境保全や生物生息環境保全の視点から調査、実験を通じて自然環境回復技術や緑化技術的研究を進めている。このほか環境林の事例を調査し、多様な条件下での樹林形成の過程を解析し緑化技術に関する基礎資料を蓄積しつつある。これらの研究では生理、生態学的、景観生態学的方法が援用される。

c) 都市及び都市近郊地域の景観保全と地域空間整備に関する緑地計画的 research

都市や都市近郊農村における広場、公園、緑地などのオープンスペースづくり、あるいは地域づくりの市民参加による計画・デザインの有効性に関する研究を行っている。

d) 緑地、オープンスペースの計画・デザインの実践と実習

実際の緑地の計画・デザインのプロジェクトに参加し、実践している。公園・緑地や史跡公園の計画、各種の競技設計への参加などである。大学院、学部生にはデザイン実習を行う。

A-2. 研究業績（国内・国外含む）

a) 成果刊行

著 書

・日本の里山・里海評価－西日本クラスター（森本幸裕、深町加津枝、今西純一他）、『里山・里海：日本の社会生態学的生産ランドスケープ－西日本の経験と教訓－』、東京：国際連合大学、2010、97pp.

・森本幸裕「URBIO 2010と都市の生物多様性指標」 in 桜井尚武・松下和夫編『森林環境 2011』、東京：朝日新聞社、2011、3、190-203

・Takemura S, Kamada M, Morimoto Y, 'Identification of Topographical and Climatic Factors Determining Suitability of Mangrove Habitat in India as a Basis for Restoration Planning', In Eds. Shaw R and Krishnamurthy RR Communities and Coastal Zone Management, Research Publishing Services, 2011, 61-74

・深町加津枝・奥敬一「比較里山論の試み－丹後半島山間部・琵琶湖西岸・京阪奈丘陵のフィールドワークから」『里と林の環境史』 文一総合出版、2011、3、209-238

・奥敬一・深町加津枝「多様な主体が関わる地域資源管理の取り組み」『山・里の恵みと山村振興』日本林業調査会、2011、3、243-275

原著論文（書評論文を含む）

・ Song, Y.K., Imanishi, J., Hashimoto, H., Morimura, A. and Morimoto, Y.
'Importance of the green spectral region for remote assessment of tree vigor condition: a case study of Cerasus species'. Journal of Environmental Information Science 39(5), 87-96. 2011.3 (査読有)

・ 杉田そらん、今西純一、深町加津枝、森本幸裕、尼崎博正、「七代目小川治兵衛による清風荘庭園の作庭過程と空間的特色」、『ランドスケープ研究』、74(5)、369-374、2011.3 (査読有)

・ 今西純一、今西亜友美、杉田そらん、「昭和初期の京都市の写る空中写真の撮影時期の再検討」、『ランドスケープ研究』、74(5)、419-424、2011.3 (査読有)

・ 今西亜友美、杉田そらん、今西純一、森本幸裕、「江戸時代の賀茂別雷神社の植生景観と日本林制史資料にみられる資源利用」、『ランドスケープ研究』、74(5)、463-468、2011.3 (査読有)

・ 加藤郁理、今西純一、深町加津枝、森本幸裕、「住宅購入検討者の庭園所持や住宅の緑に対する意識についての研究」、『ランドスケープ研究』、74(5)、551-556、2011.3 (査読有)

・ Sasaki, T., Imanishi, J., Ioki, K., Morimoto, Y. and Kitada, K. 'Object-based classification of land cover and tree species by integrating airborne LiDAR and high spatial resolution imagery data'. Landscape and Ecological Engineering, Online First. 2011.3 (査読有)

・ Baba, T., Imanishi, J., Imanishi, A., Watanabe, E., Ohgitani, E., Imanishi, J. and Morimoto, Y. 'Urban woodland for stress reduction: An experimental study on effects of walking, environment and experiences of woodland play.' Journal of Landscape Architecture in Asia 5, 249-254. 2010.10 (査読有)

・ Morimoto Y, 'Biodiversity and ecosystem services in urban areas for smart adaptation to climate change: "Do you Kyoto" ?', Landscape and Ecological Engineering", Vol 7, No 1, 9-16, Tokyo, 2010

・ 堀川真弘・津山幾太郎・大藪崇司・守村敦郎・森本幸裕、「衛星画像を用いたアラル海・シルダリア下流域の湿地帯変遷とダム建設後の修復状況の評価」『環境情報科学論文集』 (24) 25-30、2010 (査読有)

・ Fukamachi K, Oku H, Miyoshi I, Changes of Land Use and Vegetation in Satoyama Landscape of Tango Peninsula, Kyoto, Japan: Where are they Bound for ? , Woodland Cultures in Time and Space: tales from the past, messages for the future, 276-283, 2009 (査読有)

・ Oku H, Ogawa N. Horiuchi M, Fukamachi K, Traditional Farmhouses as Sources for Land Use History – a Case Study from the Satoyama Landscape in Japan. Woodland Cultures in Time and Space: tales from the past, messages for the future, 284-290, 2009 (査読有)

・ 木村栄理子・深町加津枝, 伝統行事「松上げ」における森林資源利用の地域特性, ランドスケープ研究73(5): 605-610, 2010 (査読有)

報告書・その他

・ 今西純一、「身近な自然が人に健康を与えるー生物多様性と統合医療」、『BIO-City』、47、92-99、2011.3

・ 今西純一、「都市の生物多様性評価におけるリモートセンシング利用の可能性」、『日本緑化工学会誌』、36(3)、385-386、2010.12

・ 森本幸裕「生物多様性にどう取り組むか：メインストリームへの道」『URBAN GREEN TECH』No. 76 :6-9, 2010

・ 森本幸裕「本格化する生物多様性への取り組み（学者が斬る459）」『週刊エコノミスト』、2010.5.18号、48-51、東京、2010

・ 森本幸裕「都市における生物多様性ー都市緑地計画ルネサンス」、『環境情報科学』 Vol 39 No. 3:51-57, 2010

・ 森本幸裕「都市と生物多様性」、『科学』、Vol.180、No.10:1023-1028、2010.10

・ 渡辺綱男、柳野良明、外崎公知、森本幸裕「URBIO2010とCOP10以後の都市の生物多様性とデザイン」、『BIO-City』No.47、18-25、2011.3

・ 森本幸裕・村上健太郎・大石善隆「庭と生物多様性」、『造園修景』No.112、1-6、2010

・深町加津枝, 「自然とのコミュニケーションをめざして」『初等教育資料』東洋館出版社, 2011, 50-53

b) 学会発表

・The 23rd World Congress of the International Union of Forest Research Organizations (IUFRO) (3回)

・The 2nd International Conference of Urban Biodiversity and Design (URBIO2010) (12回)

・第58回日本生態学会大会 (3回)

・第23回日本リスク研究学会年次大会 (1回)

・第20回日本景観生態学会大会 (3回)

・International Symposium for the Convention on Biological Diversity (1回)

A-3. 国内における学会活動など①

所属学会等 (役割)

・森本 幸裕: (社)日本造園学会 (代議員)、日本緑化工学会 (監事)、日本景観生態学会 (会長)、環境情報科学センター (評議員)、自然環境復元学会 (理事)、日本学術会議 (連携会員: 環境学)

・今西 純一: 日本造園学会 (学術委員、関西支部 幹事、関西支部 事務局)、日本景観生態学会 (専門幹事)、日本緑化工学会 (編集委員、評議員、緑・健康研究部会 幹事)

A-3. 国内における学会活動など②

競争的資金等獲得状況

①科学研究費補助金

・基盤研究A: 森本 幸裕: 都市における生物多様性指標の開発

・若手研究B: 今西 純一: 微弱発光計測技術を応用した遅延発光にもとづく樹木の活力診断手法の開発

・基盤研究A: 中村太士: 再生すべき生態系の抽出、工法ならびに科学的評価に関する学際的研究

・基盤研究A: 夏原由博: 比較景観生態学手法にもとづく里山の評価システムの開発

- ・基盤研究B：高原光：西日本における植生と景観形成に及ぼした野火の影響

②その他の競争的資金

- ・平成23年度新技術開発財団植物研究園研究助成：中村 彰宏：植物研究園における3次元計測データを用いた景観シミュレーション

A-4. 国際交流・海外活動①

所属学会等（役割）

- ・森本 幸裕：International Consortium for Landscape and Ecological Engineering (President)、International Federation of Landscape Architects - Japan (Board Member)

- ・深町 加津枝：国際会議URBIO2010 実行委員会

- ・今西 純一：国際会議URBIO2010 実行委員会（学術部会長）

B. 教育活動（2010. 4～2011. 3）

B-1. 学内活動

a) 開講授業科目（担当教員）

- ・全学共通科目： 環境科学基礎ゼミナール（森本）、森林基礎科学B（森本）、地球環境学のすすめ（深町）、環境農学論（森本、深町、今西）
- ・学部： 造園学I（森本）、造園学II（森本）、緑地植物学（今西、森本）、環境デザイン学演習（森本、深町、今西）、環境デザイン学実験（森本、深町、今西）、森林科学IV（森本）、造園学実習Ⅰ（今西、森本）、造園学実習Ⅱ（今西、森本）、森林総合実習及び実習法（深町、今西）、森林科学実習IV（深町）、コンピュータ利用と森林科学（今西）
- ・大学院： 緑地環境デザイン学特論（森本）、環境デザイン学専攻演習（森本、深町、今西）、環境デザイン学専攻実験（森本、深町、今西）

B-2. 学外における教育活動

学外非常勤講師

- ・今西 純一：京都精華大学（ランドスケープデザイン）
- ・森本 幸裕：京都府立大学農学部（造園学及び森林風致論）

公開講座等

- ・今西 純一：第17回 はんなり京都 嶋臺塾

・森本 幸裕：国際シンポジウム「日本における里山・里海の生態系サービス評価：生物多様性条約第10回締約国会議に向けた地域からの貢献」、パネラー「里山・里海S G A西日本クラスタの進捗状況」国連大学高等研究所主催、2010年5月23日、国連大学本部、東京

・社会と学術との対話フォーラム：生物多様性を主流に、パネラー「日本の課題」、生物多様性条約第10回締約国会議支援実行委員会、名古屋大学主催、2010年9月4日、名古屋大学：パナソニックエコアイディアフォーラム2010、パネルディスカッション生物多様性保全の取組み、パネラー「都市と生物多様性」、パナソニック主催、2010年10月8日、パナソニックセンター東京、東京

・City Biodiversity Summit 2010, Speaker, ‘Science supporting local action’ (Plenary) 愛知県名古屋市COP10支援実行委員会主催、名古屋東急ホテル、名古屋、2010年10月25日：第44回公園緑地講習会、講師「生物多様性を支える都市のみどり」、(社)日本公園緑地協会主催、国立オリンピック記念青少年総合センター、東京、2010年11月16日

・救おう千年の桜フォーラムin吉野山、基調報告「吉野山、桜の森の保全再生に向けて」、読売新聞大阪本社、吉野の桜を守る会主催、2011年3月19日、吉野山ふるさとセンター、吉野町：生物多様性シンポジウム：企業が語るいきものがたりPart4～愛知ターゲット実現に向け、企業が果たすべき役割～、パネラー「都市の生物多様性」、三井住友海上火災保険株式会社主催、2011年2月23日、中央大学駿河台記念館、東京

・ポストURBIO連続シンポジウム「生物多様性の技術と政策」（都市における生物多様性指標の開発）企画、於：第41回日本緑化工学会大会、岡山大学、岡山、2010. 9. 25：

・造園学会全国大会の国際シンポジウム、パネラー、日本造園学会主催、2010年5月22日、名城大学（名古屋市）：琵琶湖森林づくりフォーラム、パネラー、滋賀県主催、2010年11月6日、大津市勤労福祉センター（大津市）

- ・京都府景観まちづくりフォーラム、講演、京都府主催、2011年3月4日、ゆめりあうじ（宇治市）：

B-3. 国際的教育活動①

留学生・外国人研修員の受入

- ・留学生：修士課程 3名（中国 1、ブラジル 1、台湾 1） 博士課程 4名（中国 1、韓国 1、マレーシア 2）

C. その他

・森本 幸裕：中央環境審議会（臨時委員（自然環境）、環境省環境研究・技術推進戦略専門委員会委員）、文部科学省教科書用図書検定調査審議会（臨時委員）、平成22年度国立・国定公園の総点検に関する検討会（委員）、保護林モニタリング調査評価委員会（委員）、生物多様性保全活動の促進に関する検討会（委員）、生物多様性活用促進事業検討委員会（委員長）、文化庁文化審議会（専門委員（文化財分科会））、京都市美観風致審議会（委員）、京都市美観風致相談員、神戸市公園緑地審議会（委員）、京都市都市緑化推進協議会（会長）、国土交通省淀川本川保全利用委員会（委員長）、（社）京都モデルフォレスト協会（理事）、（財）京都市都市緑化協会（理事）、NPOグリーンエンバイロメント（理事）、NPO法人自然環境復元協会（理事）、京都伝統文化の森推進協議会（副会長）、（財）都市緑化技術開発機構（研究顧問）、里山・里海サブグローバルアセスメント（国連大学高等研究所等）、科学評価パネル、西日本クラスター共同議長

・深町 加津枝：京都市美観風致審議会、京都市環境影響評価審査会（委員）、京都市都市計画審議会、京都府森林審議会、京都府特定計画（ツキノワグマ）検討委員会、京都府公共事業評価審査委員会、滋賀県ふるさと・水と土保全対策委員会、天橋立世界遺産登録可能性検討委員会、史跡紫香楽宮跡保存管理計画策定委員会、兵庫県野生動物保護管理運営協議会、京都府農林水産技術センター評議委員会、京都府府民公募型公共事業審査委員会、嵐山国有林の取扱に関する意見交換会、保護林モニタリング調査評価委員会（林野庁）、里山ネットワーク世屋（理事）、比良の里人（理事）、上宮津21夢会議、田上邸保存会、フィールドソサエティー、やぶこぎ探検隊、びわこ自然環境ネットワーク